

### サービス付高齢者向け住宅

## 富士桜

私たち医療法人晴心会では、この理念に基づいて、平成24年度の基本方針のテーマに「患者様に寄り添う医療」を掲げてまいりました。今、日本では、高齢化が急速に進み、高齢の単身者やご夫婦のみの世帯が増加しています。ここ泉南市においても同様で、介護・医療が連携して高齢者を支援することができる住宅を確保することが極めて重要な課題です。そんな背景を受け、高齢者の居住の安定を確保することを目的として、サービス付き高齢者向け住宅「富士桜」の開設を計画し、平成25年4月の完成をめざして、いま、準備を進めています。

「富士桜」では、居室の広さや設備、バリアフリーといった居住空間への配慮はもちろん、ケアの専門家による安否確認や生活相談など、日々の暮らしをしっかりとサポートしてまいります。

また、野上病院敷地内にあるという利点を活かし、医療法人晴心会及び野上グループが有している医療資源を提供できることも大きな特長です。さらに、訪問看護ステ

病を癒すだけでなく、誰もが安心して幸せを感じられる医療をご提供いたします。

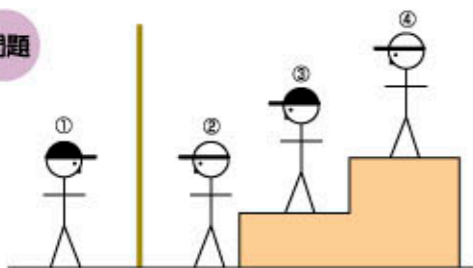
ーション（訪問看護ステーション希望）、通所リハビリテーション施設（デイケアひまわり）等が併設し、食事サービスについても各種治療食の提供が可能です。24時間の安らぎを感じながら笑顔で暮らしていただけますように。サービス付き高齢者向け住宅「富士桜」が地域の皆様の憩いの場となること、そして、安心と幸せをご提供できると私たちは確信しております



問い合わせは、  
サービス付高齢者向け住宅  
富士桜開設準備室（野上病院内）  
Tel 072-484-0007 fax 072-484-0079

### 前号の問題

問題



自分の帽子の色がわかる人はと聞きますと、①-④のうち1人が「ハイ」と返事をし色を当てました。さて①-④のどの子で、その理由はなんだったのでしょうか、

答え

正解の子供は左から3番目です。  
壁は透明でないのか、子供同士が話をしてもいいのかという人がいて、アダムとイブがリンゴを手にした時から、大人は原罪を引きずっているようです。  
1番、2番の子供は前に誰も居ないのでわかりようがありませんよね。4番目は前の二人が白黒なので、白黒どちらかなのですがわかりようがありません。3番目も前の2番目が白なので白黒どちらかなのですが、もし3番目が白だったら黒だったらと自身で考えたらとします。3番目が白だったら除外診断で四番目が前が見えるので私は黒だと手を挙げたと思うのですが、じっと待っていても四番は答えません。「あっそうか」と3番目はひらめき、自身が黒であることを知るので。

この問題は多くの教訓を与えています。相手の気持ちになって彼が第三者をどう思っているのか、患者さんの身内が患者さんのことを受け入れるか私が考えてみる、ということだと思います。

## がんスクリーニング (AICS)

がんスクリーニング (AICS) を当院でも実施しています。

AICSとは・・・血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析する事で、がんであるリスク(可能性)を予測する検査です。

検査は・・・

- \* 「女性2種」乳癌、子宮癌、卵巣癌。
- \* 「男性4種」胃癌、肺癌、大腸癌、前立腺癌。
- \* 「女性5種」胃癌、肺癌、大腸癌、乳癌、子宮癌、卵巣癌。

以上の3種類で、対象としたリスクについて予測する事ができます。

リスクとは・・・確率、可能性、危険性などと呼ばれるもので、がんであるか否かをはっきりと判断するものではありません。

あきらかな症状のある方は医療機関を受診する事をお勧めします。

受診前の  
注意点

\* 食後8時間以上空けて下さい。

\* アミノ酸のサプリメント、アミノ酸含有スポーツ飲料、アミノ酸製剤、牛乳、ジュースなども控えて下さい。(サプリメントを服用している方は2日程空けてからの検査をお勧めします。)

検査を希望される方は、一度病院までお気軽にお問い合わせ下さい。

■ AICS検査を希望される方は、14時までに病院へお越し下さい。14時以降の場合は結果が、予定より1日遅れます。

■ 検査は採血による簡単な検査になります。検査後約10日(土日除く)で結果が出ます。結果は、がんである確率をAICS値というもので報告となり、リスクの傾向は数値が高いほど、がんである確率が高くなります。(血液中のアミノ酸濃度は、さまざまな原因で変化しますので、がん以外の病気でもAICS値が高くなる場合があります。)

<対象者>

日本人(妊娠されてる方は除く)を対象としています。

<対象年齢>

胃癌・肺癌・大腸癌・乳癌は25～90歳

前立腺癌は40～90歳

子宮癌・卵巣癌20～80歳

### 脱水について

体内の水分が不足した状態を脱水といいます。正常では、成人で体重の約60%、小児では体重の約80%が水分であると言われています。脱水は、身体から水分が出る量に対して、水分を取る量が不足することで起こります。したがって、水分が沢山出てしまうこと、水分を取る量が少なくなること、の2つが脱水の原因となります。

夏では気温が高くなり、暑くなると水分(汗)が沢山身体の外へ出てしまいます。そのため、十分な水分を取らなければ『身体から水分が沢山出てしまう』ため、脱水の原因となってしまいます。体重の約2%に相当する量の水分が身体の外へ出てしまうと、『のどが渇く・食欲がなくなる・頭痛・身体のだるさ・めまい・はきけ』などの症状が現れます。

しかし、眠っている間に脱水になると、これらの症状に気付くことが出来ません。夜にクーラーを付け、タイマーセットしたまま寝ていると、夕

イマーが切れてから気温が上がり、多量の汗が出てしまい、脱水になる危険性があります。寝る前に十分な水分を取る、起きる時間までクーラーを付けておく、窓を開けて寝るなどの対応を考えましょう。

脱水に対しての処置として、のどの渇きや食欲が無くなる程度であれば、水分を多く取ることで回復するといわれています。身体から水と一緒に塩分も出てしまうため、塩を水の1%の量ほど加えたものが良く、大人であればスポーツドリンクでも良いです。スポーツドリンクは、塩分(ナトリウム)が多く含まれるため、乳幼児の脱水時に与えると、低ナトリウム血症や水中毒を起こしてしまう危険があります。そのため、『経口補水液』と呼ばれる食品を与えるのがベストとなります。また、スポーツドリンクには糖分も多く含まれるため、糖尿病の方や透析を受けている方は主治医のほうまでご相談ください。

脱水が重度となり、食べること・飲むことが出来ない場合は病院等でご相談ください。